

生分解性マルチの導入

- みどりの食料システム戦略で掲げた各目標の達成に貢献しうる、現場への普及が期待される技術を『「みどりの食料システム戦略」技術カタログ』として公表。

スイートコーン栽培への生分解性マルチの導入 による省力効果の定量化とコスト評価

問い合わせ先：山梨県総合農業技術センター環境部
TEL:0551-28-2987 e-mail:mochizuki-akby@pref.yamanashi.lg.jp

公開

温室効果ガス

農薬

肥料

有機農業

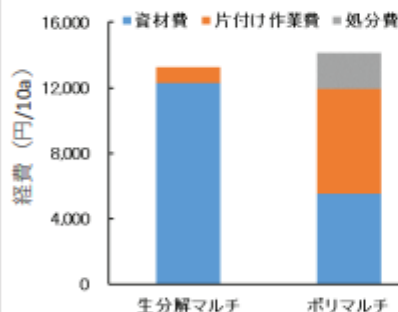
その他
(脱プラスチック)

生産 品目：スイートコーン

技術の概要

一部の農家では、スイートコーン栽培への生分解性マルチの導入が始まっているが、廃プラスチック対策を加速させるため、さらに利用を拡大する必要がある。

生分解性マルチが敬遠される要因の一つにポリマルチとの価格差が挙げられるが、片付け作業の省力効果を定量化し、これを人件費の圧縮効果に換算することで、マルチ利用に関するコストを総合的に評価した。その結果、生分解性マルチの利用コストはポリマルチと同等と評価された。



効果

◎片付け作業における省力効果は6時間/10a

マルチの剥ぎ取りが不要になり、残渣処理に要する作業時間が圧縮されることで、5.9時間/10aの労力削減が可能。

◎マルチ利用に関するコストはポリマルチと同等

省力効果を人件費に換算すると、ポリマルチとの価格差は相殺され、経費はポリマルチ栽培と同等となる。

●スイートコーンの片付け作業における各工程の10a 当たり作業時間（実測）

各工程の10a当たり作業時間（実測）



作業時間を約6時間/10a低減可能

導入の留意点

- ・栽培方法の違いにより数値は多少変動する
スイートコーンの栽培法は産地ごとに異なるため、片付け作業に要する時間は多少変動することが想定される。

その他（価格帯、研究開発・改良、普及の状況）

- 価格帯
生分解性マルチは、ポリマルチより2倍以上高価だが、マルチ処分費用が不要となり、省力化により人件費が圧縮されることで、経費はポリマルチと同等となる。
- 改良・普及の状況
スイートコーン栽培への生分解性マルチの導入は既に始まっているが、利用をさらに拡大するための一助となる。

関連情報

山梨県総合農業技術センターホームページ
「令和4年成果情報」

